aicBOOKS 海外投資実践マニュアル

HOW TO INVEST OVERSEAS / SINGAPORE 1

シンガポール1

サンプル版

フィリップ証券／フィリップ・フューチャーズ

海外投資を楽しむ会・編著

alternative investment club

サンプル版のご注意

本 PDF はサンプル版のため、目次と一部ページのみを抜粋して掲載しています。

【重要】

・本書は海外の金融機関の一般的な口座開設方法や取引方法を解説したもので、その一例として具体的な金融機関を紹介しているが、これらの金融機関の利用を推奨するものではない。本書で紹介した金融機関と有限会社オルタ・インベスト・コム（以下、AIC）はなんの関係もなく、AIC は各金融機関の信用度を保証しない。口座開設はあくまでの各自の判断で行なっていただきたい。

・本書に紹介された金融機関を利用したことから仮になんらかの損害が生じたとしても、その判断はあくまでも各自の自由な選択によるものであり、AIC はその損害に対していっさいの責任を負わない。

・本書のデータは 2013 年 12 月現在のものであり、それ以降の変更に関しては各自で確認されたい。重要な変更については、海外投資を楽しむ会ホームページに随時アップする。

●海外投資を楽しむ会　http://www.alt-invest.com/

・リンクが切れているなど、お気づきの点がありましたらご一報ください。info@alt-invest.com

Introduction
“もうひとつのアジアのオフショア”を体験しよう！

シンガポールは香港と並ぶアジアのタックスヘイヴンとして、近年ますます注目が集まっています。リタイアした日本人富裕層だけでなく、大手企業の経営者、ベンチャー起業家、トレーダーなどが続々とこの都市国家に移住していることがテレビなどでもたびたび紹介されました。世界的な投資家ジム・ロジャーズがシンガポールに拠点を移したように、その魅力はこれからますます高まっていくでしょう。

本書ではそのシンガポールを舞台に、日本の個人投資家がグローバルな資産運用を実現するための具体的なノウハウをまとめています。

シンガポールの証券・先物取引所である SGX（Singapore Exchange）は、世界でもっとも先進的な取引所のひとつとして知られています。株式市場では、シンガポール国内企業のほか、各種の ETF（上場型投信）や REIT（上場型不動産投信）を積極的に上場しており、これを利用してアセアン（東南アジア）の主要企業や中国・インドなどエマージングマーケットの株価指数に投資することもできます。先物市場では、大阪証券取引所とのアービトラージ（鞘取り）で売買高を拡大してきた日経 225 のほかに、中国・インド・台湾・香港などの株価指数先物・オプション、日本国債（ミニ日本国債）などの金利先物・オプション等々、アジア市場のさまざまなデリバティブ商品を上場してきました。シンガポールの金融機関を利用すれば、こうした株式・先物商品をローコストで売買することが可能になります。

本書で紹介しているのは、リテール（個人向け）のインターネット証券・先物取引会社ではシンガポール最大手のフィリップ証券とフィリップ・フューチャーズです。そのいちばんの特徴は、証券口座と先物口座を POEMS というひとつのプラットフォームで取引できることです。

POEMS の口座開設は日本から郵送で可能で、シンガポール株のほか、アメリカ・イギリス・日本・香港・タイ・マレーシアなどの株式市場にインターネットでアクセスできます。それ以外にも、オフショアファンドや FX 取引、CDF、さらには世界各国の先物市場での取引と投資の選択肢は大きく広がるでしょう。POEMS は初心者向けの取引システムですが、セミプロクラスのトレーダーのためにさまざまな専用ツールが用意されているのも魅力です。

POEMS の口座にシンガポール国内の銀行口座を組み合わせると、両者間の資金のやりとりを無料で行なえるなど、使い勝手は大幅に向上します。『海外投資実践マニュアル　シンガポール 2（銀行編）』は 2014 年 2 月発売予定で、DBS 銀行と HSBC シンガポールを紹介する予定です。

香港とはひと味違った“もうひとつのアジアのオフショア”を体験してみませんか。

海外投資を楽しむ会

海外投資実践マニュアル
シンガポール 1

CONTENTS

Introduction “もうひとつのアジアのオフショア”を体験しよう！……3

“アジアのオフショア”シンガポールの基礎知識……10

Part1 Phillip Securities フィリップ証券

1．シンガポールの証券市場……16

■シンガポールの上場株式……17
■シンガポールの ETF……18
■シンガポールの REIT……19
■シンガポールのデリバティブ商品……20

2．フィリップ証券の概要……22

■取引できる金融商品……24
① 株式……24
② CFD……24
③ 投資信託……25
④ 債券……25

■口座の種類……25
①カストディアン口座 Custodian Account……25
②マージントレーディング口座 Margin Trading Account（Margin Financing）……25
③キャッシュマネジメント口座 Cash Management Account……25
④キャッシュトレーディング口座 Cash Trading Account……26

【Culmn】シンガポールの送金システム……26

■取引ツール……27
① POEMS Internet：ポエムズ・インターネット……27
② POEMS Mobile：ポエムズ・モバイル……27
③ Telebroker：テルブローカー……27
④ PROMS Pro Trader：ポエムズ・プロトレーダー……28

■取扱通貨……28
■売買手数料……28
① 株式売買の手数料……28
(a) 売買手数料　(b) 配当受取手数料　(c) 信託手数料　(d) CDP 手数料
② 投資信託の手数料……34
③ 債券売買の手数料……34

3. 証券口座を開設する……35

■口座の選択……35
■フィリップ証券に口座を開設するには……36
① 現地の本支店を訪れる……36
② 日本から郵送で口座開設する……37
③ 共同名義で開設するには……37

■必要書類……38
① Phillip Securities Application Form：口座開設申込書……39
② W-8BEN Form：米国非居住者証明 ……39
③ パスポートおよび認証されたパスポートのコピー……39
④ 住所証明書類……39

■口座開設申込書の記入と準備……40
① 口座開設申込書の記入項目……40
② W-8BEN の記入項目……47
③ CFD 取引申込書の記入項目……47

■口座開設の手順……51
①本店での口座開設手順……51
②郵送での口座開設手順……51
(a) 認証書類の作成　(b) 書類の郵送　(c) 本人確認手続き　(d) 最低預金額の送金

4. POEMS(オンライン)で株式を売買する……56

■ POEMS にログインする……56
① 2 つのトップページ……56
②パスワードの変更……57
③ログイン……58

■ログイン後のトップページ「Attention」の構成……58
① E-Statement への切替……60

■株式情報画面の見方……61
① STOCKS の構成画面……61
Java の設定
② Watchlist を作成する……63
③ チャートを表示する……66

■株式を売買する……70
① 取引時間を確認する……70
② シンガポール株を購入する……71
③ 注文をキャンセル・変更する……72
④ 外国株を取引する……73

■複数通貨間の両替……76
■銘柄情報を調べる……78

5. POEMS で投資信託を購入する……81

■ POEMS で購入可能なファンド……81
■ UNIT TRUST 画面の構成……82
■ ファンドを購入する……84
① ファンドを検索する……84
② ファンドを購入する……87
③ プロモーション……90
④ MY WATCHLIST……91
⑤ MY INVESTMENTS……93

6. POEMS で債券を購入する……94

7. POEMS で CFD 取引をする……97

■ マージン取引と CFD 取引……97
■ フィリップ証券の CFD……97
■ CFD と DMA……98
■ マージンコール（追証）……99
■ CFD を売買する……99
■ CFD Trader を使う……101

8. POEMS の口座管理と入出金……103

■ 口座管理……103
① 証拠金の確認方法……105

■ POEMS への入金……105
① 電信送金で入金する……105
② Bill Payment で入金する……106
③ EPS で入金する……106
④ 小切手で入金する……107
⑤ 現金で入金する……107

■ POEMS からの出金……109
① EPS で出金する……109
② 小切手で出金する……110
③ 小切手で受け取る……110
④ 電信送金で出金する……110

Part2 Phillip Futures フィリップ・フューチャーズ

1. フィリップ・フューチャーズの概要……114

■フィリップ・フューチャーズの取扱商品……114
■先物・オプション取引……114
■大証と SGX の日経 225……119
■主要商品の手数料……120

■為替証拠金取引と FX Invest 取引……120
① 為替証拠金取引……120
② FX Invest 取引……122

■フィリップ・フューチャーズの取引ツール……122
① POEMS……122
② POEMS Professional……123
③ FX365……123
④ CQG Trader……123
⑤ Mobile Traders……123
⑥ Avant Trader……123

2. 先物口座を開設する……125

■フィリップ・フューチャーズに口座を開設するには……125
①本店を訪れる……125
②日本から郵送で口座開設する……125
③共同名義で開設するには……126

■必要書類……126
① Individual / Joint Account Application Form：口座開設申込書……126
(a) ホームページから資料請求する　(b)E メールを送る
② Application Form for Electronic Trading Platform：取引用プラットフォーム利用申込書……128
③ パスポートおよび認証されたパスポートのコピー……128
④ 住所証明書類……128

■口座開設申込書の記入と準備……129
①口座開設申込書の記入項目……129
②取引用プラットフォーム利用申込書の記入項目……142

■書類の確認……146
■口座開設の手順……146
(a) 書類の郵送　(b) 本人確認手続き　(c) イニシャルデポジットの送金

■口座の統合……148

3. POEMS(オンライン)で日経 225 先物を取引する……150

■日経 225 先物を売買する……150
① 日経 225 先物を発注する……150
② Stop Limit（逆指値）注文を出す……155

■売買を確認する……156
① Daily Activity Statement での確認……156
② ホームページで確認……156
③ 証拠金と追証……157

4. POEMS Professional で 日経 225 先物・オプションを取引する……158

■ POEMS Professional の申込方法……158
■ ソフトのダウンロード……160
■ POEMS Professional にログインする……160
■ POEMS Professional で日経 225 先物・オプションを取引する……162

５．FX365 で FX 取引をする……168

■ フィリップ・フューチャーズの FX 取引……168
■ FX365 を申し込む……168
■ FX365 で FX 取引をする……169

【Column】SWAP ポイントの計算方法について……175

6．POEMS で FX 取引をする……176

■ POEMS の FX 取引……176
① FX Pro……176
② Mini FX……176
③ FX Invest……176

■ FX PRO で FX を取引する……178
■ FX Invest での外貨両替……180
■ 証拠金管理……181

7．先物口座の入出金……182

■先物口座への入金……182
① Bill Payment で入金する……182
② 電信送金で入金する……182

■先物口座からの出金……183
■郵送での出金依頼……184

“アジアのオフショア”シンガポールの基礎知識

シンガポールは香港と並ぶアジアの代表的なオフショア金融センターですが、これまで個人投資家向けの情報は多くありませんでした。ここでは、シンガポールの金融事情について、簡単に説明しておきたいと思います。

■シンガポールの銀行

同じイギリスの旧植民地でも、シンガポールの銀行は香港よりもすこし敷居が高いのが特徴です。さすがにジャケット・ネクタイ着用とまではいいませんが、いまでも半ズボンやサンダル履きの顧客は入店を拒まれる場合があります。

銀行は大きく国内系、外資系に分かれ、私たち日本の個人投資家の場合、国内系三大銀行（DBS、UOB、OCBC）と、外資系の HSBC、シティバンク、スタンダード・チャータード銀行が、銀行口座を開設する際の選択肢となるでしょう。

このうち、国内系と外資系では口座開設基準がすこし異なります。

国内系銀行では、外国人の場合、口座開設にはシンガポール内の住所と労働ビザ Working Pass が必要で、旅行者が口座を開くことは原則としてできません。ただしこれには例外があって、シンガポールの証券会社に口座を持ち株式などの売買をしていて、その決済銀行として利用する場合に、口座開設を認めてくれることがあります。

一方、HSBC など外資系銀行は、非居住者でも口座開設に対応してくれます。ただし最近は急増する口座数を制限する意図もあり、正当な理由を説明できないと口座開設が認められないケースもあります。後述のように、Citibank シンガポールは、非居住者向けの IPB（International Personal Banking）部門に口座開設することになります。

① シンガポールの国内系銀行

国内系銀行では、“三大銀行” と呼ばれる DBS、UOB、OCBC が取引シェアのほとんどを占めています。

1) DBS（星展銀行） Development Bank of Singapore http://www.dbs.com.sg/

前身は政府系のシンガポール開発銀行で、民営化後、郵便貯金の POSB（Post Office Savings Bank）を合併し、東南アジア最大、世界でも有数の金融グループとなった。現在も、大株主はシンガポール政府。シンガポール最大の証券会社 DBS Vickers は子会社。

DBS については、「実践マニュアル シンガポール 2」（2014 年 2 月発売予定）にて紹介する予定。

2) UOB（大華銀行） United Overseas Bank http://www.uob.com.sg/

民間銀行としてはシンガポール最大。ラッフルズ・プレイスに聳える UOB タワーはシンガポール金融街の象徴。

3) OCBC（華僑銀行） Overseas Chinese Banking Cooperation http://www.ocbc.com.sg/

UOB に次いで民間銀行第 2 位。シンガポールをはじめ、東南アジア各地でビジネスを行なう華僑を主な顧客とする。

② シンガポールの外資系銀行

外資系銀行のうち、HSBC とスタンダード･チャータード銀行はローカルと同じ口座が開設できますが、Citibank は、非居住者向けの IPB 口座になります。

1) HSBC シンガポール HSBC Singapore http://www.hsbc.com.sg/

HSBC グループのシンガポール拠点。旅行者でも口座開設可能だが、最近は単に口座を開設したいと告げると、受付で断られたり、高額の最低預金額を提示される場合もある。

最低預金額規定のある総合口座のアドバンス Advance 口座やプレミア Premier 口座であれば、比較的簡単に口座開設できるが、シンガポール普通預金・当座預金の総合口座で、外貨口座や投資口座とは別。また、HSBC 香港でアドバンスやプレミア口座を持っている場合は、そのステイタスで最低預金額規定なく、総合口座の開設が可能。

口座は即日開設できず、口座番号が登録住所宛てに通知されたあと、口座に送金する。ATM カードも登録住所に郵送されてくる。

HSBC シンガポールについては、「実践マニュアル シンガポール 2」（2014 年 2 月発売予定）にて、詳

細を解説する予定。

2) スタンダード・チャーター銀行シンガポール　Standard Chartered Bank Singapore

http://www.standardchartered.com.sg/

口座の構成は HSBC とほぼ同じだが、最低預金額など若干敷居は低い。通常の普通・当座口座のほかに、ATM カードが発行されないが最低預金額がなく、金利も高い e$aver（イーセイバー）口座も。詳細は各自で確認のこと。

③シティバンク・シンガポール　Citibank Singapore　http://www.citibank.com.sg/

シティバンク・シンガポールの場合、シンガポール非居住者は自動的に IPB（International Personal Banking）口座を開設することになる。IPB 口座はローカル口座に比べて最低預金額が高く（普通預金口座で US$5,000）、送金手数料なども割高だが、日本語を話す担当者が付く。詳細は各自で確認のこと（日本語可）。

＊

シンガポールの場合、香港とちがって銀行業務と証券業務は分離されており、銀行で投資信託（オフショアファンド）を買うことはできますが、株式の売買はできません。また、シンガポールドル普通・当座預金口座と外貨預金口座が一体となった総合口座もありません。シンガポールの銀行口座は、本書で紹介するフィリップ証券やフィリップ・フューチャーズ（POEMS）のような証券会社の口座と併用することで口座開設できるところも少なくなく、また組み合わせて使うことで効果を発揮します。

証券口座との間の資金のやり取りを考えると、外資系銀行よりも、シンガポール内の無料送金システム（Bill Payment、EPS、GIRO など）を利用できる国内系銀行のほうが利便性は勝ります。とくに、フィリップ証券・フューチャーズは、DBS 銀行との間での入出金が便利です。

■シンガポールの証券会社

シンガポールは香港に比べても人口が少なく、証券会社もファンドや機関投資家など大口投資家向けのサービスが中心で、個人投資家にグローバルなオンラインサービスを提供する会社はそれほど多くありません。そのなかで総合金融グループ、フィリップ・キャピタル Phillip Capital は、傘下のフィリップ証券、フィリップ・フューチャーズで世界の個人投資家に多様な金融サービスを提供しています。SGX（シ

ンガポール取引所）に上場されている株式・先物商品だけでなく、アメリカ、イギリス、日本、香港、タイ、マレーシアなど複数のマーケットにオンラインでアクセスできるなど、その先進性はシンガポールでは群を抜いており、日本の個人投資家にとっても第一選択肢になることは間違いないでしょう。本書では、フィリップ証券での株式取引、フィリップ・フューチャーズでの日経 225 先物・オプション取引を中心にその活用方法を紹介しています。

フィリップ証券、フィリップ・フューチャーズともに、弁護士や公認会計士、行政書士、シンガポール大使館などによるパスポートとサインの認証があれば、日本から郵送で口座開設することが可能です。シンガポールの銀行口座と組み合わせれば、手数料無料で資金を移動できるなど利便性は向上しますが、証券・先物口座だけでも充分に利用価値はあるでしょう。

銀行口座の開設は窓口で行なうことになるため、シンガポールを訪れるのであれば、証券口座（＋先物口座）＋銀行口座を同時に開くと便利です。郵送で先に証券・先物口座を開設した場合は、シンガポールを訪れた際に銀行口座とリンクさせておくといいでしょう。

シンガポールは東南アジア旅行のハブ（中継点）として頻繁に利用されており、金融機関はラッフルズ・プレイス周辺の金融街に集まっているので、半日もあれば銀行・証券（先物）会社をすべて回れます。次の旅行の機会を活用して、シンガポールの金融サービスを体験してみましょう。

Part 1

Phillip Securities
フィリップ証券

1. シンガポールの証券市場

SGX（Singapore Exchange ＝シンガポール取引所）は、1999 年 12 月に SES（Stock Exchange of Singapore ＝シンガポール証券取引所）と SIMEX（Singapore International Monetary Exchange ＝シンガポール国際金融取引所）が合併して生まれたアジア初の証券・デリバティブ総合取引所です。SGX の上場商品とその概要は、同取引所のホームページで閲覧できます。

▶ SGX のホームページ　http://www.sgx.com/

SGX の上場商品には、主に以下のようなものがあります。

●証券取引

1) 上場株式
2) ETF（上場型株式投信）
3) ETN（上場型契約型投信）
4) REIT（上場型不動産投信）
5) 個別株ワラント
6) ステイプルド証券 *

* ステイプルド（ステイプルで綴じられた）証券とは、不動産・運輸・公共投資などインフラ事業において、目的を同じくする複数の株式・信託を合併して、ひとつの証券として売買するもの。オーストラリア市場で広く利用されている。SGX には、オーストラリアのステイプルド証券が上場されている。

●デリバティブ（先物／オプション）

1) 株式インデックス
2) 国債インデックス
3) 配当インデックス

●債券（シンガポール国債）

●商品

1) ゴム

2) エネルギー

3) 金属

●取引時間（上場株式）

曜日	営業時間	
月～金曜日	プレ・オープン	AM8：30 ～ AM8：58~59
	マッチング	AM8：58~59 ～ AM9：00
	通常取引	AM9：00 ～ PM5：00
	プレ・クローズ	PM5：00 ～ PM5：04~05
	マッチング	PM5：04~05 ～ PM5：06
	クローズ	PM5：06

※シンガポールと日本では－1時間の時差がある。シンガポール時間の AM9：00 は日本時間の AM10：00。

※シンガポールには旧正月など年間 12 日の祝日がある。詳しくは観光局などで確認のこと。

SGX の上場商品のなかで、日本人の個人投資家にも投資機会の多いものを解説します。

■シンガポールの上場株式

シンガポール市場の主要上場企業として、以下の 10 社を挙げておきます。

●シンガポールの主要企業

銘柄	証券コード	概要
Singtel	Z74	シンガポールテレコム
Jardine Strategic	J37	ジャーディングループの持株会社
DBS	D05	元国有銀行。東南アジア最大の金融機関
OCBC	O39	UOB と並ぶ民間金融機関最大手
UOB	U11	民間金融機関最大手
Dairy Farm	D01	スーパーマーケットチェーン
Wilmar International Ltd	F34	中国を中心に農業ビジネスを展開
Keppel	BN4	造船・港湾・不動産・エネルギー
CAPITALAND	C31	アジアを中心に不動産開発
SIA	C6L	シンガポール航空

■シンガポールの ETF

SGX に上場している ETF は現在 94 本で、取引通貨にはシンガポールドル（SGD）建てと米ドル（USD）建てがあります。ETF は SGX の下記のページでスクリーニングできます。

▶ ETF Screener

http://203.127.29.74/wps/portal/sgxweb/home/products/securities/etfs/etf_screener

なかにはほとんど取引のないものもあるので注意してください。

ここでは取引高の多い 10 銘柄をあげておきます。

●シンガポールの ETF

銘柄	証券コード	概要
IS MSCI INDIA	I98	MSCI インド指数に連動
LYXOR ASIA 10	P60	日本を除く MSCI アジア指数に連動
SPDR STI ETF	ES3	シンガポール株価指数に連動
LYXOR CHINA 10	P58	ハンセン指数に連動
NIKKO AM STI ETF	G3B	シンガポール株価指数に連動
LYXOR TAIWAN 10	A9A	MSCI 台湾指数に連動
DBX CN CSI300	KT4	中国の CSI300 指数に連動
DBX VIETNAM	HD9	MSCI ベトナム指数に連動
DBX THAILAND	LG7	MSCI タイ指数に連動
DBX INDONESIA	KJ7	MSCI インドネシア指数に連動

■シンガポールの REIT

SGX に上場している REIT には以下の 19 銘柄があり、シンガポールを中心に東南アジア、オーストラリア、中国などの工業用地や商業・住宅不動産物件を投資対象としています。

●シンガポールの REIT

銘柄	証券コード	概要
Ascendasreit	A17U	工業団地
AscottREIT	A68U	サービスアパート
CACHE	K2LU	工業団地
Cambridge	J91U	工業団地
CapitaComm	C61U	オフィス、商業物件、ホテル
CapitaMall	C38U	商業物件、オフィス
CapitaRChina	AU8U	中国の商業物件
Fortune Reit HK$	F25U	香港の商業物件
FrasersCT	J69U	商業物件
Kep REIT	K71U	オフィス
LippoMalls	D51U	インドネシアの商業物件
MapletreeCom	N21U	商業物件、オフィス
MapletreeGCC	RW0U	中国と香港の商業物件、オフィス
MapletreeInd	ME8U	工業団地
MapletreeLog	M44U	工業団地
SoilbuildBizREIT	SV3U	工業団地
SPHREIT	SK6U	商業物件
Starhill Gbl	P40U	商業物件、オフィス
SuntecReit	T82U	商業物件、オフィス

■シンガポールのデリバティブ商品

SGX に上場している先物・オプションには株価指数先物、債券・金利先物、為替先物などがあります。売買のほとんどは、大阪証券取引所とのアービトラージ（裁定取引）に使われる日経 225 先物・オプションですが、インド市場の株価先物である「CNX Nifty Futures」や、上海・深圳市場の A 株指数先物である FTSE 新華中国 A50 など、エマージング市場を対象としたデリバティブ商品にも力を入れています。

● SGX の先物・オプション

銘柄	原資産
株式インデックス	
SGX Nikkei 225 Index Futures	日経 225
SGX Nikkei 225 Index Options	日経 225 オプション
SGX Mini Nikkei 225 Index Futures	日経 225 先物ミニ
SGX USD Nikkei 225 Index Futures	日経 225 ドル建て
SGX FTSE China A50 Index Futures	中国 A50 指数
SGX MSCI Hong Kong+ Index Futures	MSCI 香港指数
SGX MSCI Indonesia Index Futures	MSCI インドネシア指数
SGX MSCI Singapore (SiMSCI) Futures	MSCI シンガポール指数
SGX MSCI Singapore (SiMSCI) Options	MSCI シンガポール指数オプション
SGX Straits Times Index Futures	シンガポール指数
SGX MSCI Taiwan Index Futures	MSCI 台湾指数
SGX MSCI Taiwan Index Options	MSCI 台湾指数オプション
SGX MSCI Thailand Index Futures	MSCI タイ指数
SGX MSCI Asia APEX 50 Index Futures	MSCI アジア APEX50 指数
SGX-PSE MSCI Philippines Index Futures	MSCI フィリピン指数
SGX CNX Nifty Index Futures	ニフティ指数
SGX CNX Nifty Index Options	ニフティ指数オプション
SGX MSCI India Index Futures	MSCI インド指数
SGX EURO STOXX 50 Index Futures	ユーロ STOXX50
SGX EURO STOXX 50 Index Options	ユーロ STOXX50 オプション

為替インデックス	
SGX AUD/JPY FX Futures	オーストラリアドル / 円
SGX AUD/USD FX Futures	オーストラリアドル / 米ドル
SGX INR/USD FX Futures	インドルピー / 米ドル
SGX KRW/JPY FX Futures	ウォン / 円
SGX KRW/USD FX Futures	ウォン / 米ドル
SGX USD/SGD FX Futures	米ドル / シンガポールドル
債券インデックス	
SGX 10-Year Full-Sized Japanese Govt Bond Futures	日本国債
SGX 10-Year Mini Japanese Government Bond Futures	日本国債ミニ
SGX 10-Year Mini Japanese Government Bond Options	日本国債ミニオプション
SGX Eurodollar Futures	ユーロダラー
SGX Eurodollar Options	ユーロダラーオプション
SGX Euroyen LIBOR Futures	LIBOR
SGX Euroyen LIBOR Options	LIBOR オプション
SGX Euroyen TIBOR Futures	TIBOR
SGX Euroyen TIBOR Options	TIBOR オプション
配当インデックス	
SGX Nikkei Stock Average Dividend Point Index Futures	日経配当指数

2. フィリップ証券の概要

フィリップ証券はシンガポールの大手金融グループ、フィリップ・キャピタルの系列証券会社で、1996 年にシンガポール初のインターネット取引システム POEMS（Phillip's On-line Electronic Mart System）をスタートさせました。POEMS では、シンガポール市場のほか、アメリカや香港・日本などグローバルな株式市場にインターネットでアクセスすることができます。

また系列企業にフィリップ・フューチャーズがあり、こちらは SGX に上場されている株式指数先物などのほか、シカゴ（CME、CBOT）やヨーロッパ（EUREX）、東京（TCOM、TGE）の先物市場、FX（為替証拠金取引）市場での取引が行なえます。

フィリップ･キャピタルグループは、シンガポールを拠点に、マレーシア、カンボジア、インドネシア、タイ、香港、中国、日本、インド、スリランカ、ドバイ、イギリス、フランス、トルコ、オーストラリア、アメリカと世界 16 の国・地域で事業展開しています（日本では老舗証券会社の成瀬証券を子会社化しました）。

POEMS のシステムは証券と先物が統合されており、株式・投資信託・債券・先物・FX など多様な金融商品を同じ取引プラットフォームで売買できます。

シンガポールにおいて POEMS の機能と多様性は他の追随を許さず、私たちが証券口座を開設する際の第一選択肢になることは間違いないでしょう。また、フィリップ･フューチャーズともども、シンガポールや東南アジア各国に在住する日本人顧客の開拓にも熱心で、いずれも本店には日本人スタッフがおり、サポートが受けられるのも大きな特徴です。今では、日本語のサイトも用意されています。

フィリップ証券とフィリップ・フューチャーズは両方に口座を開設して利用することもできますし、それぞれ単独で口座開設することも可能です。

口座開設時の最低預入金額として、フィリップ証券は SG$5,000 以上、フィリップ・フューチャーズは SG$10,000 以上の入金が必要です。

フィリップ・フューチャーズの取引方法については Part2 で詳しく解説しています（P113 参照）。

●フィリップ証券

Phillip Securities Pte Ltd

250 North Bridge Road

#06-00, Raffles City Tower

Singapore 179101

Tel：+65-6531-1555（カスタマーサービス、英語のみ）

+65-6338-6597（日本語サービス）

（月～金曜日、AM9：00 ～ PM6：00）

Email：poems-otoiawase@phillip.com.sg（日本語可）

http://www.phillip.com.sg/

http://www.poems.com.sg/（日本語サイトあり）

●フィリップ・フューチャーズ

Phillip Futures Pte Ltd

250 North Bridge Road

#07-01, Raffles City Tower

Singapore 179101

Tel：+65-6538-0500（カスタマーサービス、英語のみ）

+65-6531-1789（日本語サービス）

（月～金曜日、AM9：00 ～ PM6：00）

Email：futures@phillip.com.sg

poems-otoiawase@phillip.com.sg（日本語可）

http://www.phillipfutures.com.sg/（日本語サイトあり）

http://www.poems.com.sg/（日本語サイトあり）

※フィリップ証券とフィリップ・フューチャーズの本店は、同じ建物の 6 階と 7 階にあります。

■取引できる金融商品

フィリップ証券では以下の金融商品が取引できます。

①株式

取引できる市場は以下のとおり。株式だけでなく、ETF、ADRs なども売買可能。

・シンガポール（SGX）
・香港（HKEX）
・日本（TSE）
・マレーシア（Bursa）
・タイ（SET）
・アメリカ（NYSE、NASD、AMEX）
・イギリス（LSE）
・オーストラリア（ASX）*
・インドネシア（IDX）*

* 基本は電話取引、一部オンライン取引が可能。

・上海 B 株（SSE）* ／ 深圳 B 株（SZSE）**
・台湾（TWSE）**
・フィリピン（PHX）**
・韓国（KRX）**
・スリランカ（CSE）**
・カナダ（TSX）**
・トルコ（ISE）**
・ヨーロッパ（EU）**

* 電話取引のみ

各市場の取引条件などについては、以下のサイトで確認できます。

▶ Global Markets　http://www.poems.com.sg/globalmarkets/global.html

なお、POEMS では、すべての取引で「指値」しか受け付けられません。

② CFD

CFD = Contaract for Difference。差金決済による店頭取引。株式の信用取引とほぼ同じ。シンガポール・香港・マレーシア・アメリカ市場のほか、世界インデックス、金などの商品も対象。詳しくは P41、97 参照。

③投資信託

シンガポールで登録されたオフショアファンド。手数料の割引あり。最低投資額は SG$1,000。積立プランもある。

なお、適格投資家にはなどのヘッジファンドも扱っている。適格投資家の基準は総資産 SG$200 万または年収 SG$30 万以上。最低投資額は SG$10 万。ファンド・オブ・ファンズの場合は SG$20,000。

④債券

短期のシンガポール政府債（T-Bills）や通貨金融庁（Monetary Authority of Singapore）が発行する金融通貨庁債（MAS Bills）など。最低投資額は SG$1,000。シンガポール政府債については以下を参照。

▶シンガポール政府債　http://www.sgs.gov.sg/

■口座の種類

フィリップ証券には複数の口座がありますが、以下、主な口座を紹介します。

①カストディアン口座 Custodian Account

現物取引口座。フィリップ証券に証券を預託。証券・現金はフィリップ証券で管理。非居住者でも口座開設可能。

②マージントレーディング口座 Margin Trading Account（Margin Financing）

信用取引口座。フィリップ証券に証券を預託。証券・現金はフィリップ証券で管理。借入利息は 6%。シンガポール居住者か、シンガポール国内に銀行口座があることが口座開設の条件。

③キャッシュマネジメント口座 Cash Management Account

フィリップ証券内の普通預金口座に資金を預けて決済に利用。CFD と外貨にも対応（CFD については P41、97 参照）。

証券は CDP（The Central Depository PTE Limited ＝シンガポール証券中央預託機関）に預託。CDP は日本で言う「ほふり（証券保管振替機構）」。シンガポールの CDP を利用すると証券を無料で預託できる。別途、申込みが必要。

非居住者でも利用できるが、シンガポール国内の DBS（POSB）、UOB、OCBC、HSBC、Standard Chartered Bank のいずれかに銀行口座を保有していることが条件。

④キャッシュトレーディング口座 Cash Trading Account

銀行間決済システム GIRO（ジャイロ＝自動引き落とし、下囲み参照）を利用した現金決済取引。GIRO に加入しているシンガポール内の銀行（フィリップ証券の場合、DBS か POSB）に口座が必要。証券は CDP に預託。

＊

①カストディアン口座（現物取引口座）と②マージントレーディング口座（信用取引口座）はともに、証券をフィリップ証券に預託する口座です。この場合、四半期ごとに口座維持手数料（信託手数料、P33参照）が発生しますが、配当受取など必要な手続きを代行してもらえます。なお、四半期に 1 回以上の株式取引があれば口座維持手数料は免除されます。

③キャッシュマネジメント口座と④キャッシュトレーディング口座はともに、CDP（シンガポール版ほふり）を利用します。両者の違いは、現金資金をフィリップ証券に預けて運用するか、GIRO（自動引き落とし）を使って銀行口座と証券口座を一体運用するかです。いずれもシンガポール内の銀行口座が必要になります（GIRO を使う場合は、DBS が必須）。

シンガポールの送金システム

シンガポールには Bill Payment、、EPS（Electronic Payment for Shares）、GIRO（ジャイロ）と、複数の無料送金システムがある。Bill Payment は香港などでも同様のシステムがある請求書払いのこと。EPS は株式の売買決済のための銀行ー証券間の送金システム。いずれも、送金の都度顧客が指示をするが、EPS は事前に登録が必要（P106参照）。GIRO は銀行口座を利用した自動引き落としで、株式購入時の代金は登録銀行口座から自動的に引き落とされ、売却代金は銀行口座に自動的に入金される。

いずれも、フィリップ証券でも利用可能だが、GIRO はキャッシュトレーディング口座など利用できる口座が限られているため、本書では詳しく紹介していない。

CDP（ほふり）を利用すると証券を無料で保管してもらえますが、売買のたびにフィリップ証券とCDP 間で証券の移管が必要となり、株式移管手数料（P33 参照）が発生します。また、利用にあたっては、別途 CDP 口座を開設する必要があり、それについては郵送では受け付けてもらえません。シンガポールにて手続きをする必要があります。

これらのことから、非居住者にとって、もっとも簡単に利用できるのは、「カストディアン口座」ということになります。本書ではこの口座を中心に紹介します。

なお、上記の各種口座には、以下のようなサービスを追加することができますが、私たち日本人には利用機会は少ないので本書では扱いません。

●借株口座 Securities Borrowing and Lending Account

フィリップ証券を通じて株式を借り、空売りを行なうための口座。

●株式積立口座 Shares Builders Plan

株式積立を行なうための口座。毎月決まった金額で、同一銘柄の購入が可能。

■取引ツール

証券取引のためのツールとしては以下の 4 種類があります。

① POEMS Internet：ポエムズ・インターネット

証券取引と先物取引を統合したオンライン取引システム。

② POEMS Mobile：ポエムズ・モバイル

GPRS/WAP プロトコルに対応した携帯端末を利用した取引システム。

③ Telebroker：テルブローカー

タッチトーンを使った電話取引システム

④ PROMS Pro Trader：ポエムズ・プロトレーダー

ヘビーユーザー向けの取引システム。利用手数料は 3 カ月ごとに US$80。

本書ではもっとも基本的な POEMS Internet を中心に説明します。これ以外に、フィリップ・フューチャーズが提供する先物取引用の専用ツールもあります（Part2、P122、123 へ）。

■取扱通貨

フィリップ証券の取扱通貨は、シンガポールドル、米ドル、香港ドル、日本円、マレーシアリンギ、オーストラリアドル、カナダドル、ユーロ、英ポンドの 9 通貨です。

■売買手数料

以下、取引商品ごとの手数料を紹介します。

①株式売買の手数料

POEMS での取引にかかる手数料は以下のとおり。なおシンガポール国内で支払う売買手数料には別途 7%の GST（消費税）が課税される。

(a) 売買手数料

市場にごとの売買手数料および最低手数料は以下のとおり。

1) SGX（シンガポール市場）

手数料の種類	条件		オンライン取引	電話取引
売買手数料	約定代金（1 回につき）	5 万 SG$ まで	0.28%	0.375%
		10 万 SG$ まで	0.22%	0.300%
		10 万 SG$ 以上	0.18%	0.225%
最低手数料	通貨	シンガポールドル SGD	SG$25	SG$40
		米ドル USD	US$15	US$24
		香港ドル HKD	HK$120	HH$190
		オーストラリアドル AUD	AU$25	AU$40
クリアリング手数料			0.04%（最高 SG$600）	
SGX アクセス手数料			0.0075%	

※売買手数料・クリアリング手数料・SGX アクセス手数料には別途消費税が課税。

2) 香港市場

手数料の種類	オンライン取引	電話取引
売買手数料	0.25%	0.30%
最低手数料	HK$100	HK$150
印紙税	0.10%* * 端数切捨て	
CCASS 手数料	0.01%（最低 HK$3）	
取引所税	0.003%	
取引手数料	0.005%	

3) 日本市場

手数料の種類	オンライン取引	電話取引
売買手数料	0.50%	0.60%
最低手数料	¥ 3,000	

4) マレーシア市場

手数料の種類	オンライン取引	電話取引
売買手数料	0.50%	1.00%
最低手数料	RM60	RM80
印紙税	0.10%（最高 1 銘柄 RM200）	
クリアリング手数料	0.03%（最高 1 銘柄 RM1,000）	

5) タイ市場

手数料の種類	オンライン取引	電話取引
売買手数料	0.50%	0.75%
最低手数料	500 バーツ	750 バーツ
消費税	0.0049%	

6) アメリカ市場

手数料の種類	オンライン取引	電話取引
売買手数料	0.30%	0.50%
最低手数料	US$20	US$25
SEC 手数料	売却代金に対して 0.00224%	

※ ADR の購入については別途取引税がかかる。

7) イギリス市場

手数料の種類	オンライン取引	電話取引
売買手数料	0.40%	0.60%
最低手数料	£25	£35
印紙税（ポンド建て）	0.50%（買いのみ）	
印紙税（ユーロ建て）	1.00%（買いのみ）	
PMT 手数料	£10,000 超の取引につき£1	

8) 上海市場／深圳市場（電話取引のみ）

手数料の種類	上海市場	深圳市場
売買手数料	0.50%	0.50%
最低手数料	US$35	HK$200
印紙税	0.10%（売りのみ）	-
取引所税	0.026%	0.0341%
決済手数料	0.05%	0.05%
管理手数料	0.004%	-

9) 台湾市場（電話取引のみ）

手数料の種類	手数料
売買手数料	0.40%
最低手数料	1,000 台湾ドル
売却税	0.3%（売りのみ）
取引所税	250 台湾ドル

10) フィリピン市場（電話取引のみ）

手数料の種類	手数料
売買手数料	0.50%
最低手数料	180 ペソ
VAT 手数料	0.03%（最低 24 ペソ）
SCCP 手数料	0.01%
売却税	0.5%（売りのみ）

11) 韓国市場（電話取引のみ）

手数料の種類	手数料
売買手数料	0.80%
最低手数料	40,000 ウォン
売却税	0.15%（売りのみ）
特別税	0.15%（売りのみ）

12) スリランカ市場（電話取引のみ）

手数料の種類	手数料
売買手数料	0.80%
最低手数料	SG$50
SEC 手数料	0.072%
CSE 手数料	0.084%
CDS 手数料	0.024%
取引手数料	0.3%
取引所税	SG$10

13) カナダ市場（電話取引のみ）

手数料の種類	手数料
売買手数料	0.40%
最低手数料	CA$35

14) ヨーロッパ市場（電話取引のみ）

手数料の種類	手数料
売買手数料	0.60%
最低手数料	EUR35
取引税	0.2%（買いのみ）

15) オーストラリア市場（オンライン取引は一部のみ）

手数料の種類	手数料
売買手数料	0.80%
最低手数料	AU$60

16) インドネシア市場（オンライン取引は一部のみ）

手数料の種類	オンライン取引	電話取引
売買手数料	0.35%	0.50% （端数株は +22,000 リンギ）
最低手数料	SG$25	SG$30
VAT 手数料	0.013%	
取引所手数料	0.03%	
売却税	0.1%（売りのみ）	
保証金	0.01%	

(b) 配当受取手数料

すべての株式には以下の配当受取手数料がかかる。

●配当受取手数料

受取額	手数料
SG$100 未満	SG$1.07
SG$100 超	1.00%
手数料の上限	SG$53.56

※配当には源泉地国で源泉徴収される場合がある。
※手数料は消費税込み。

(c) 信託手数料

信託手数料は、シンガポール株と外国株で異なる。

●シンガポール株

現物取引口座を開設した場合は、以下の信託手数料（口座維持手数料）がかかる。

・口座維持手数料：四半期ごと（3・6・9・12 月末日）：SG$16.05
・免除条件：四半期ごとに最低 1 回の取引

●外国株

外国株式を保有している場合は、以下の信託手数料がかかる。

・外国株信託手数料：1 銘柄あたり毎月 SG$2.14（ただし四半期に SG$160.50 が上限）
・免除条件：売買代金にかかわりなく毎月 2 回以上の取引、または、四半期ごとに 6 回以上の取引

(d) CDP 手数料

キャッシュトレーディング口座、キャッシュマネジメント口座を保有し、CDP（証券保管振替機構）を利用した場合は、売買のたびに以下の株式移管手数料がかかる。

●株式移管手数料

・フィリップ証券と CDP 間の移管：1 銘柄あたり US$21.40（税込）
・CDP 間の移管：1 銘柄あたり US$10.70（税込）

なお、各市場ごとの手数料や取引時間、休場日などは、POEMS のサイトで確認できます。日本語のサイトもありますが、少し情報が古いようなので、英語のサイトで確認したほうが正確です。

▶ Global Markets　http://www.poems.com.sg/globalmarkets/global.html

画面右に並ぶ国名をクリックすると、各市場の情報ページが開きます。

②投資信託の手数料

POEMS では現在、一部の特別プロモーションを行なっているファンドを除いて、オフショアファンドの販売手数料を一律 0.75％（通常は 5％）、MMF の販売手数料は無料にディスカントしている。

③債券売買の手数料

POEMS で期間 90 日以内の短期シンガポール政府債（T-Bills）、金融通貨庁債（MAS Bills）の売買が可能。売買手数料は Bid と Offer のスプレッドだけで、他に手数料は発生しない。最低投資額は SG$1,000。

海外投資を楽しむ会（AIC）

「ゴミ投資家」シリーズの制作スタッフを中心に 1998 年に設立。翌 99 年から海外投資の情報交換サイトを運営。
2013 年 12 月現在で会員数約 1 万 7,350 人。
海外投資を楽しむ会 URL　http://www.alt-invest.com/

海外投資実践マニュアル
シンガポール 1
＜フィリップ証券／フィリップ・フューチャーズ＞

2006 年 12 月 25 日　初版第 1 刷発行
2010 年 4 月 25 日　改定版第 1 刷発行
2014 年 1 月 10 日　改定第 2 版第 1 刷発行

編著者　海外投資を楽しむ会

発行所　有限会社オルタ・インベスト・コム
〒 180-0004　東京都武蔵野市吉祥寺本町 1-13-6-901
FAX 0422-28-5006
http://www.alt-invest.com
E-mail: info@alt-invest.com

編集・DTP　有限会社パラダイス・ロスト
表紙デザイン　深沢英次

本書の全部、または一部を複写・複製、および磁気・光記憶媒体に入力することを禁じます。

Printed in Japan
©Alt Invest Com Ltd. 2014